



地方独立行政法人  
りんくう総合医療センター

臨海北1号  
Rinku-Kitah 1



**KIX**

関西国際空港



空港連絡橋

りんくう総合医療センター

ゲート  
タワービル

りんくうタウン駅

大阪臨海線

阪神高速湾岸線

みなとりんくう線

近畿自動車道関西国際空港線

至和歌山

至なんば

羽倉崎駅

泉佐野駅

南海本線

至和歌山

至天王寺

長滝駅

日根野駅

JR阪和線



# りんくう総合医療センター

りんくう総合医療センター

大阪府泉州救命救急センター

感染症センター

# りんくう総合医療センターの特色



地域医療  
支援病院

専門医療

がん拠点  
病院

三次救急

特定感染症  
指定医療  
機関

周産期医療

災害拠点  
病院

国際診療

臨床研修  
病院

# 診療の特色

## 1. 地域中核病院としての紹介型、開放型病院

脳卒中、心筋梗塞、がん、周産期を中心とした専門医療を提供する入院重点主義の病院です。また専門医療を支える設備、医療機器は最先端の物を設置しています。

## 2. 予防医療と急性期医療に責任を果たす病院

慢性期医療やターミナルケアは地域ぐるみの医療体制のなかで診ています。

## 3. 高度情報化病院

地域医療連携システム なすびんネット

# 基本構想

1. とくに3大成人病(がん、心疾患、脳血管疾患)、  
周産期医療に対し高度先進医療を実践
2. 救急災害医療を充実
3. 高度情報化による医療サービスの向上
4. 良質の地域医療供給システムの構築

りんくう総合医療センターはあらゆる医療ニーズに応え、心のこもった良質の高度専門医療を実践し、泉佐野・泉州地域はもとより広域的に高度医療を支える中核病院として機能します。さらに、地域医療機関はもとより、保健、福祉の諸施設とも協力連携して地域ぐるみで良質の医療サービスを提供し、市民の健康と命を守る中心的役割を果たします。

# 専門医療センター



泉州広域  
母子医療  
センター



心臓センター



高度脳損傷・  
脳卒中センター

専門診療科の垣根をこえた  
チーム医療をめざして！



重症外傷  
センター



急性期外科  
(ACS)センター



脊椎・人工関節  
センター

# 当院の概要



## ◎当院の診療科目

総合内科・感染症内科、内分泌代謝内科、循環器内科、血液内科、腎臓内科、

肺腫瘍内科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、麻酔科、眼科、耳鼻咽喉科、口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、国際診療科、救急科、救命診療科(救命センター)、病理診断科

## ◎ベッド数: 388床

- ・りんくう総合医療センター 一般病床348床  
(ICU/CCU10床、NICU6床/GCU 12床、HCU 12床、無菌室10床含む)
- ・感染症センター10床(うち特定感染症病床2床)
- ・救命センター 一般病床12床、ICU18床

# 臨床研修プログラムの基本理念



＜当院の基本理念に沿った初期研修＞

- 1. 医療を受ける人々に納得と安心感を与える  
医療を実践する  
患者より信頼される医師、チーム医療、インフォームドコンセントが十分行える医師
- 2. 良質で適切な医療を提供する  
EBMに基づいた医療の実践
- 3. 医療活動を通じて社会に貢献する  
地域の医療機関とのネットワーク

# 臨床研修の実際

**STARS (市立貝塚病院との共同プログラム)**

## 受け入れ研修医の人数

当院にて2年間の研修医 年5名の計9名

大阪大学からのたすきがけ1名(1年目当院)

大阪市立大学からのたすきがけ2名(1年目当院)

医師総数140名のうち

- ・指導医84名
- ・卒後3年日以降の後期研修レジデントを含む 非常勤医員総数は15名

(平成28年4月現在)



# 研修の期間割り



1年目

内科

救急

選択必修

6ヶ月

3ヶ月

3ヶ月

2年目

選択重点カリキュラム(地域医療1ヶ月含む)

12ヶ月

# 1年目の研修



## \*内科 (6ヵ月)

- ・循環器内科 2ヶ月
- ・総合内科・感染症内科(膠原病)、血液内科、肺腫瘍内科(がん治療センターとして)、内分泌代謝内科、腎臓内科 の中から4ヶ月  
(希望者には**消化器内科(市立貝塚病院)**2ヶ月選択可)

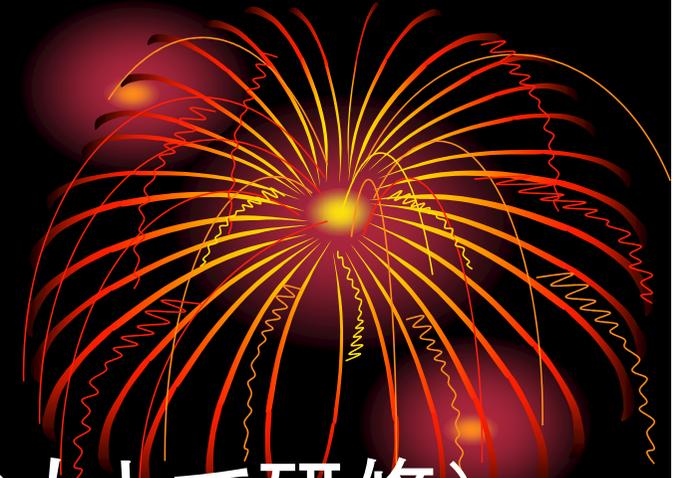
## \*救急部門 (3ヶ月+)

- ・救命救急センター 1ヶ月
- ・麻酔科 2ヶ月
- +上記以外で
- ・時間外救急外来(月4単位当番)  
プライマリー当直 内科系、外科系当直の下で研修医枠として当直
- ・各専門医のオンコール体制あり
- ・時間内救急当番 週1回程度  
救急科(救命救急センター)専門医の直接指導

## \*必修選択科 (3ヶ月)

- ・原則として一般外科2ヶ月、脳神経外科1ヶ月とする。  
(産婦人科、小児科の選択も可)

# 2年目の研修



- 地域医療1ヶ月（近隣の協力医のもとで研修）
- 精神科研修2週間（七山病院）
- ささえあい医療人権センターCOML1週間
- 残りの期間については自由選択
- 自由選択期間中、救命救急センター**6ヶ月**の選択可
- 救急外来 プライマリー当直（内科系、外科系、循環器系、周産期、指導医クラスの当直、各専門医オンコール体制）

# 新研修カリキュラム



## 1年目（共通カリキュラム）

内科（6ヶ月） 救急（3ヶ月） 選択必修（3ヶ月）

## 2年目（選択重点カリキュラム）（いずれも地域医療1ヶ月含む）

①循環器重点コース（循環器内科6ヶ月・心臓血管外科6ヶ月）

②外科・整形・脳外重点コース（外科、整形外科、脳外科のいずれか9ヶ月・麻酔科3ヶ月）

③周産期重点コース（産婦人科6ヶ月・小児科6ヶ月） 母性内科1ヶ月含む

④麻酔科重点コース（麻酔科9ヶ月・救命救急センター3ヶ月）

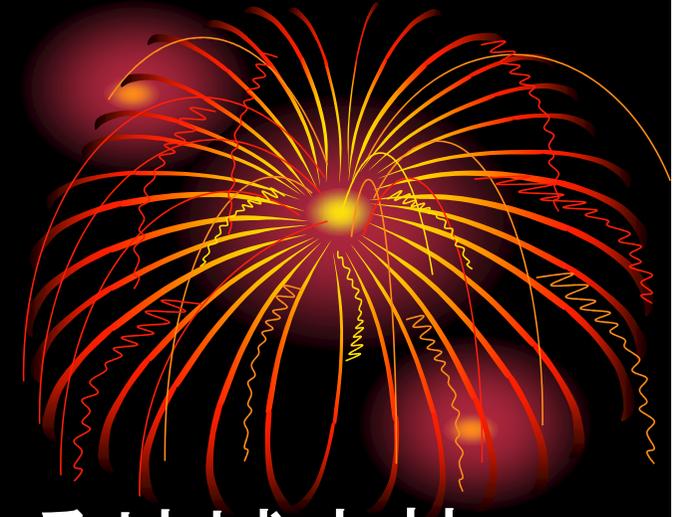
⑤総合内科コース（総合内科をメインに全ての内科診療科から組み合わせ自由に12ヶ月）

⑥救命救急センター重点コース

⑦選択科コース（全28診療科から組み合わせ自由に12ヶ月）

※3年目もローテーション可能

# 3年目以降の研修



- 当院は高度専門医療を行っている地域中核病院であり、希望があればほとんどの科において3年目以降の後期レジデントの受け入れが可能である
- 3年目までのローテーションも可能
- 多部門にわたって専門医養成機関となっており最先端の専門技術、資格を身につけることが可能である

# 全研修医対象の研修会など



- クリニカルレベルアップセミナー（月1回）
- 内科カンファレンス（月1回）
- 医療英会話講座（月1回）
- 各ローテーション科のカンファレンス
- 回診、症例検討会、抄読会

# ● 充実した環境 Vol. 1 ●

## ★ 単身用職員寮

セジュールりんくう	
家賃 :	22,500円
水道代 :	2,300円
火災保険料 :	584円
合 計 :	<b>25,384円</b>
(駐車場代)	(8,000円)



シャンテ笠松	
家賃 (駐車場代込) :	28,520円
共益費 :	3,750円
火災保険料 :	636円
合 計 :	<b>32,906円</b>



エスポワール三洋	
家賃 (共益費込) :	24,500円
合 計 :	<b>24,500円</b>
(駐車場代)	(8,000円)



## ★ 院内保育所



開所時期	平成23年10月4日(火)
所在地	泉佐野市りんくう往来北1-825 (法人施設より約200m離れた場所に位置します。)
対 象	病院に勤務する職員の子どもの生後57日目から就学前までの乳児及び幼児並びに病気の回復期のため集団保育が困難な乳幼児とする。
保育時間	日勤勤務帯での保育を基本とし、延長保育及び週2回(火曜日、木曜日)の24時間保育の実施する。
休所日	年末年始
保育種別	月極保育・一時保育・病後児保育(ただし、月曜日～金曜日)
保育料	月極:一人目 20,000円 二人目以降 10,000円 一時・病後児:1回 2,000円 ※給食費及びその他の実費は別途負担
運営事業者	アートチャイルドケア(株) (プロポーザル方式による提案により選定)
その他行事	防災訓練、誕生会、運動会、クリスマス会など実施

## ● 充実した環境 Vol. 2 ●

### ★公共交通機関

【南海空港線、JRの2ウェイアクセス】

- ・寄り駅のりんくうタウン駅まで徒歩5分
- ・関西空港まで1駅  
学会行くのに便利！  
旅行にも便利！

### ★高速道路

阪神高速泉佐野南出入口車2分



## ● 充実した環境 Vol. 3 ●

### ★レジャー施設充実

- ・りんくうプレミアムアウトレット  
ブランド充実しています！
- ・りんくうプレジャータウン“シークル”  
スーパーマーケット、雑貨、洋服、レストランや  
スーパー銭湯もありますよ♨

### ★りんくう公園

- ・関空を望むビーチでBBQをしたり、夕日百選に選ばれた  
夕景鑑賞もオススメです♪

# DMAT CAR



Trauma  
&  
Critical Care

SENSHU TRAUMA AND CRITICAL CARE CENTER



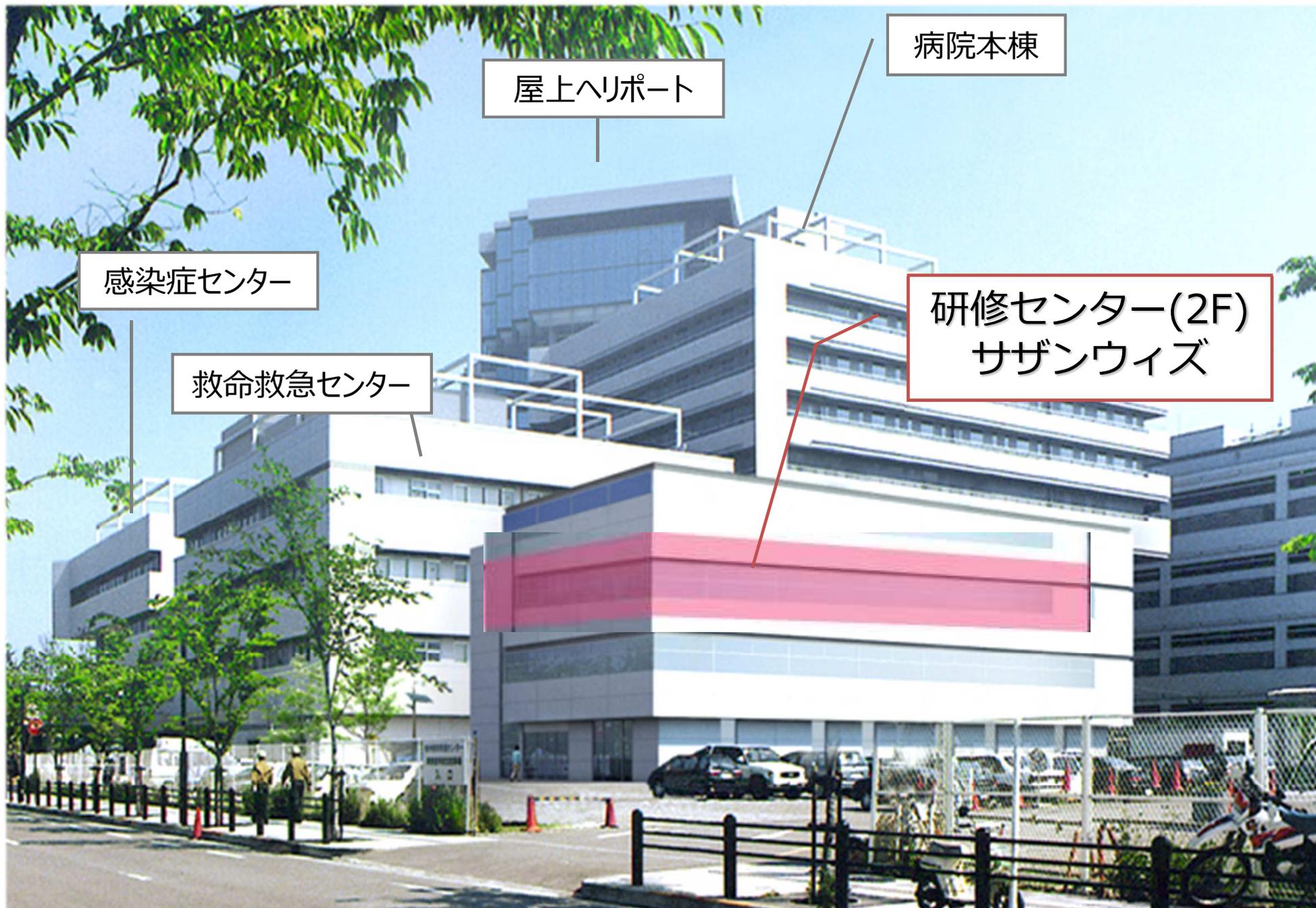
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター

大阪府泉州救命救急センター

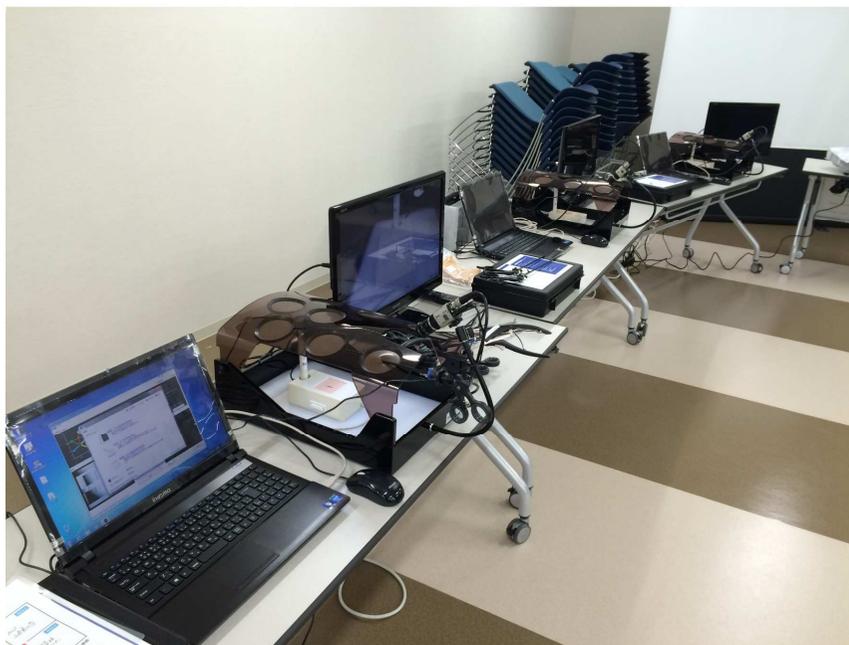


# ★研修センター【サザンウィズ】★

—人的資源の共有と医療従者の人材育成の拠点—



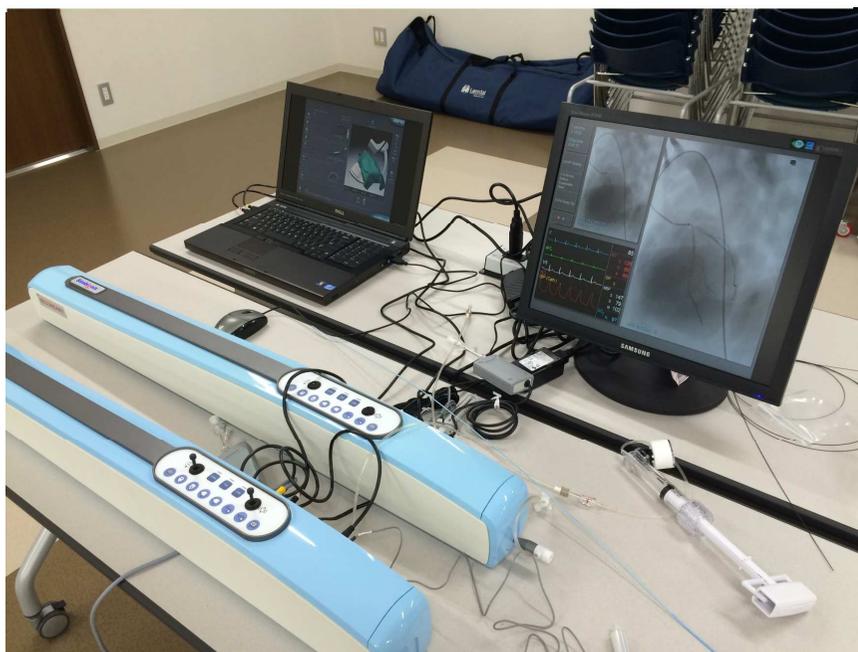
## 腹腔鏡下縫合 シミュレーター



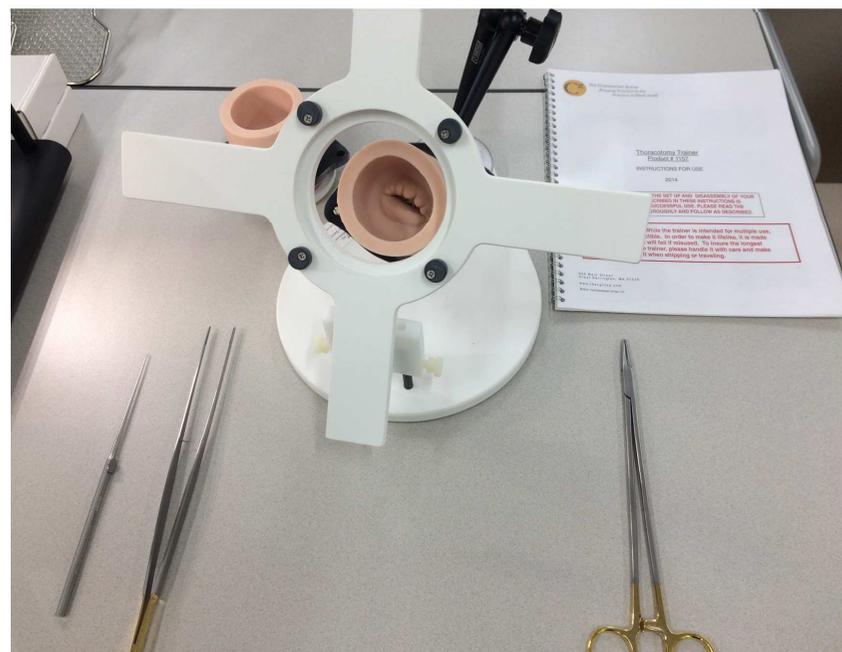
## 経食道エコー シミュレーター



## 血管内治療 シミュレーター



## 心臓弁形成術 シミュレーター



# 外傷外科手術治療戦略コース (SSTTコース)



# MCLSコース

多数傷病者への医療対応標準化トレーニングコース



# 泉州二次救命処置コース(ICLSコース)



# 新生児蘇生講習会Aコース



# 外科手技セミナー

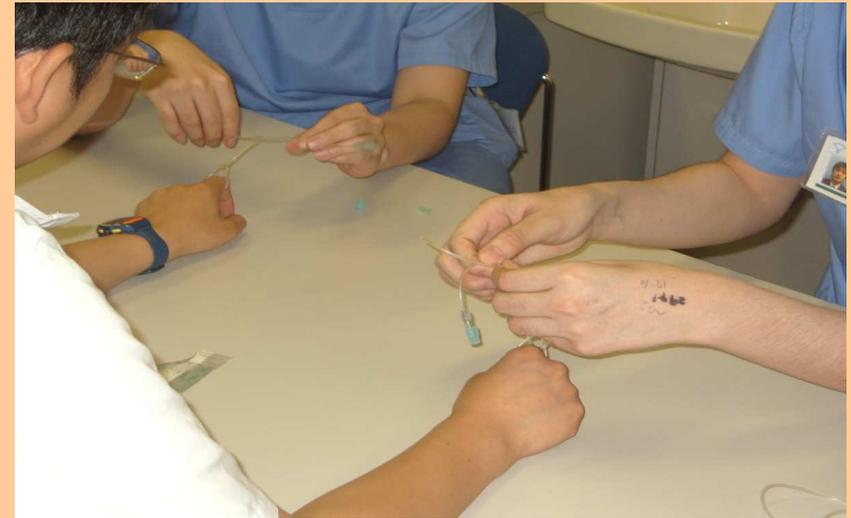
## ～中心静脈確保編 1～



# 外科手技セミナー～糸結び編～



さあ、みんなで始めよか～  
今日は速さより美しさを追及するで！

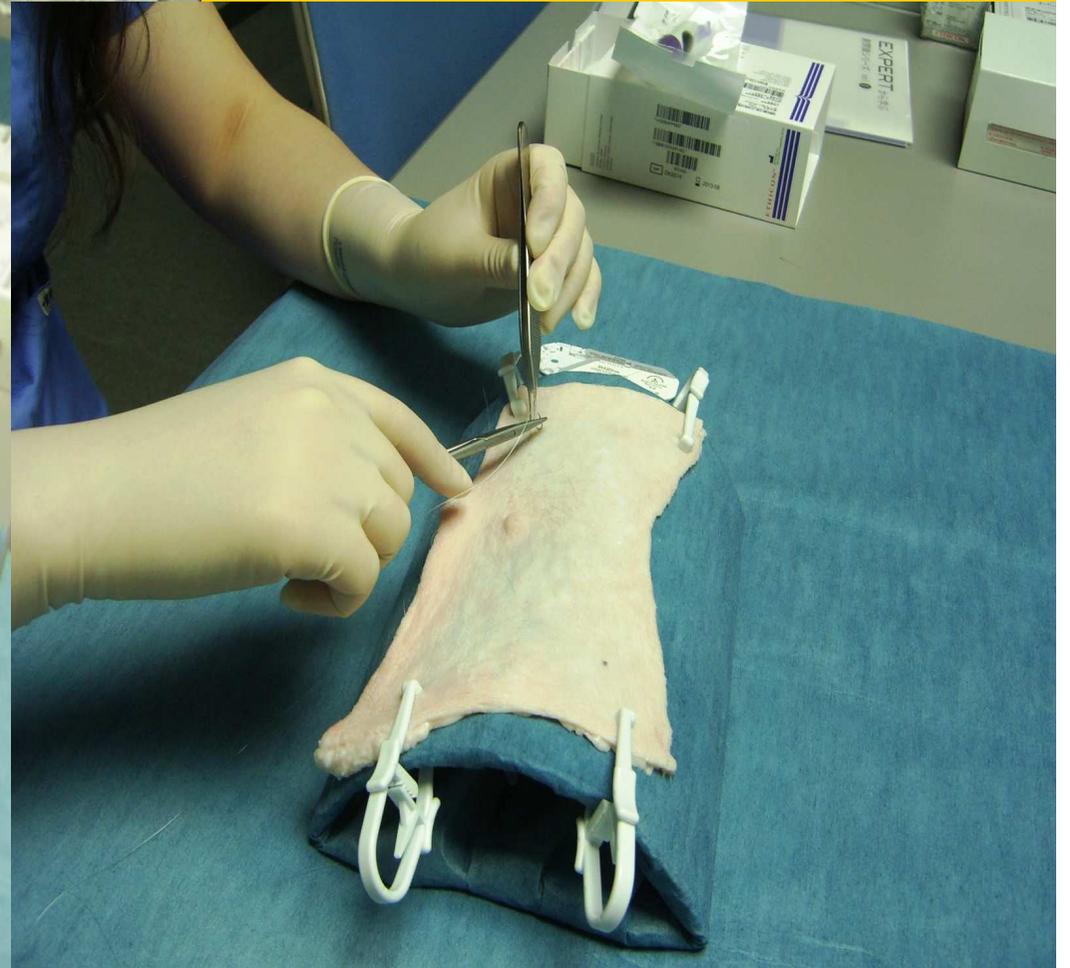


縫合練習がんばりまあす ^^

これは、こうやって  
やなあ～・・・



# 外科手技セミナー ～豚皮を使っ縫合デモ編～



# “医療英会話講座”

当院では、毎月1回 医療英会話教室を開催しています。



内容→問診・診察時のロールプレイ  
医学英語と一般英語の違い  
通訳練習（英日、日英通訳  
練習、単語クイックリスポ  
ス）など



当院は、関西国際空港に隣接している立地条件から、外国籍の患者さんが多数来院されますので、健康管理センター内に『国際診療科』を設けております。センター長の南谷先生は、日本の医師免許はもちろん、ブラジル国医師免許もお持ちで、ポルトガル語・スペイン語・英語に対応できます。その他医療通訳のボランティアさんも活躍してくださっています。

サマリー作成中！



研修医ルーム入り口に  
電子カルテのPCが  
3台あります



# ドクターヘリ訓練



# ある日の研修医ルーム



# ある日のブラザー懇親会



初期研修医1人对担任医師1人(or2人)という制度があります。  
初期研修医にとってのお兄ちゃんお姉ちゃん先生(ブラザー・シスター)とは、研修内容や医師としての考え方はもとより、時には恋バナや美味しいごはん屋さんの事など、色々な相談が出来る関係を築け、初期研修医のオアシス的な存在となっております♪

# ある日の慰労会

研修責任者



院長

研修責任者



# 歴代出身大学別研修医数

旭川医科大学	1
北海道大学	1
札幌医科大学	1
弘前大学	2
金沢大学	3
金沢医科大学	1
富山大学	3
福井大学	1
藤田保健衛生大学	2
獨協医科大学	1
帝京大学	1
杏林大学	1
愛知医科大学	2
滋賀医科大学	1
三重大学	1
兵庫医科大学	2
京都府立医科大学	1
奈良県立医科大学	6

大阪大学	11
大阪市立大学	8
大阪医科大学	5
近畿大学	8
関西医科大学	1
和歌山県立医科大学	1
鳥取大学	2
島根大学	1
岡山大学	1
徳島大学	4
香川大学	2
愛媛大学	1
広島大学	1
九州大学	1
大分大学	2
福岡大学	2
佐賀大学	1
鹿児島大学	1

# 学会認定施設

日本内科学会認定医制度教育病院  
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設  
日本腎臓学会研修施設  
日本血液学会血液研修施設  
日本透析医学会認定医制度教育関連施設  
日本呼吸器学会関連施設  
日本呼吸器内視鏡学会認定医制度関連認定施設  
日本消化器病学会認定医制度認定施設  
日本大腸肛門病学会認定施設  
日本外科学会外科専門医制度修練施設  
日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設  
日本内分泌外科学会日本甲状腺外科学会内分泌・  
甲状腺外科専門医制度認定施設  
日本乳癌学会認定施設  
日本呼吸器外科専門医制度基幹施設  
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構  
(日本胸部外科学会、日本心臓血管外科学会、  
日本血管外科学会)  
日本心血管インターベンション学会認定研修施設  
腹部ステントグラフト実施施設  
日本臨床腫瘍学会認定研修施設  
日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所  
日本脳卒中学会研修教育病院  
日本整形外科学会認定医制度研修施設  
日本リウマチ学会教育施設  
日本リハビリテーション医学会研修施設  
日本感染症学会関連研修施設  
日本急性血液浄化学会指導施設

日本救急医学会救急科指導医指定施設  
日本外傷外科学会専門医研修施設  
日本集中治療学会専門医研修認定施設  
日本形成外科学会認定施設  
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会  
エキスパンダー実施施設(一次再建、二次再建)  
インプラント実施施設(一次一期再建、一次二期再建、  
二次再建)  
日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設  
日本産科婦人科学会専門医制度認定施設  
日本小児科学会認定医制度研修施設  
日本周産期・新生児医学会専門医制度周産期新生児  
指定研修施設  
日本周産期・新生児医学会専門医制度周産期母体・  
胎児基幹研修施設  
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設  
日本アレルギー学会認定教育施設  
日本泌尿器科学会専門医教育施設  
日本眼科学会専門医制度研修施設  
日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設  
日本病理学会病理専門医研修認定施設B  
日本臨床細胞学会認定施設  
日本がん治療認定医機構認定研修施設  
日本麻酔科学会麻酔科認定病院  
日本食道学会全国登録認定施設  
日本静脈経腸栄養学会、NST稼動施設  
日本消化器内視鏡学会専門医指導施設  
日本糖尿病学会教育関連施設

# 平成28年度病院見学会

『百聞は一見にしかず』

気になる病院があれば、是非見学に行くのが一番です。

良いところ、受け入れにくいところ・・・様々な病院の特徴を見て、感じて下さい！！

## <見学会日程>

第1回 平成28年3月18日(金) 13時～

第2回 平成28年5月8日(金) 13時～

第3回 平成28年7月29日(金) 13時～

第4回 平成28年8月26日(金) 13時～

終了しました



## <見学会内容>

- ・プログラム内容のプレゼンテーション、質疑応答
- ・院内見学

なかなか入れないヘリポートや、OP、ICU、隣接の救命センターなど、各部署の説明を聞きながら、上(屋上)から下(地下)までぐるっと回ることができます！H27年2月にオープンした「りんくう教育研修棟」内シミュレーションセンター見学もお楽しみに！！（実演します☆）

- ・初期研修医面談

実際に初期研修をしている先生と直接お話できますので、病院選びのポイントはもちろん、国試への取り組み方や人生相談(!?)まで、生の声を聞いて下さい。  
きっと、有意義な時間が過ごせます。

## ★上記以外でも・・・

興味のある診療科での見学実習も可能です。複数の診療科を見学するもよし、一つの診療科にじっくり何度も来るもよしです！

診療科指導医と日程調整いたしますので、希望日・希望診療科をメールまたはお電話でお申し込み下さい。

# 研修医の処遇

1) 給与	年収見込	1年目	4,000,000円
		2年目	5,000,000円
		3年目	9,000,000円(後期研修)
		5年目	12,000,000円(スタッフ)

2) 社会保険 厚生年金・全国健康保険協会・雇用保険  
・労働者災害補償保険に加入

3) 研修会、学会参加費用助成

4) 職員宿舎 単身用入居可(ワンルームマンション)

# 応募および試験について

- 1) 応募資格 平成29年医師免許取得予定者  
(既卒者・既卒者も可)
- 2) 選考方法 面接、小論文
- 3) 試験日 第1回 平成28年7月 9日(土)  
第2回 平成28年8月12日(金)  
第3回 平成28年8月19日(金)
- 4) 受付期間 第1回 平成28年6月27日(月)~7月7日(木)  
第2回 平成28年7月25日(月)~8月10日(水)  
第3回 平成28年8月 1日(月)~8月18日(木)
- 5) 必要書類書 臨床研修願(写真貼付)、卒業見込み証明書、  
成績証明書
- 6) 研修開始日 平成29年4月1日
- 7) 応募連絡先 総務課総務係

**\* 上記日程以外でも調整可能！**

# 総合内科・感染症内科

現在スタッフ5名

現在の医療は高度の専門化が進んでいる一方で、  
様々な病気を併せ持つ患者様に対して「全人的医療」を行う  
ことのできる医師が少なくなっています。

そこで当院では平成25年4月より総合内科・感染症内科を新たに立  
ち上げ、診断のついていない症状ではじめて当院を受診され、どの専  
門科を受診すればよいかわかりにくい患者様に対して、専門分野を横  
断的に診療する幅広い総合診療を行っています。さらにその際に感染  
症診療を行う機会も多く、当科にて診療を行っています。

# 総合内科・感染症内科

---

具体的には、一般内科疾患全般（内科救急疾患を含む）をはじめ原因不明の持続する発熱（不明熱）などの患者様の外来、入院診療を行います。

また、当科以外の各専門科において入院治療を要する患者様に対しても、専門科と良好なコミュニケーションを保ち、多角的に相互補完するバランスのとれたチーム医療を実践し、患者様の全身管理のサポートを行っています。

---

---

またさらに、輸入感染症の診療も当科の重要な任務の一つです。特に当院は、厚生労働大臣指定の我が国で4か所の特定感染症指定医療機関の1つであり、西日本では唯一です。当科にて感染症センターに入院された患者さんの診療を行っています。

---

# 総合内科・感染症内科メンバー

倭 正也 役職: 部長兼感染症センター長兼院内感染対策室長  
専門: 総合内科、感染症、内科救急診療、集中治療

入交 重雄 役職: 膠原病内科部長兼リウマチセンター長  
専門: 膠原病、総合内科、感染症

葛城有希子 役職: 副医長 専門: 総合内科、感染症

藤岡 研 役職: 副医長 専門: 総合内科、感染症

関 雅之 役職: 医員 専門: 総合内科、感染症

## りんくう総合医療センター

日本内科学会総合内科専門医 6名

内科新専門医制度に基幹施設として申請予定です。  
大阪大学、大阪大学関連施設が連携施設です。



2013年度 総合内科・感染症内科 総合診療外来

外来初診患者様 診断病名一覧 ①

A 循環器系		B 呼吸器系		C 消化器系		D 腎泌尿器系	
高血圧症	41	気管支炎	22	大腸ポリープ	17	尿路結石	10
心不全	19	慢性閉塞性肺疾患	3	急性胃腸炎	20	尿崩症	1
急性心不全	0	喘息	20	胃潰瘍	43	腎結石症	3
慢性心不全	3	睡眠時無呼吸症候群	2	内痔核	15	糖尿病性腎症	3
狭心症	13	慢性咳嗽	34	アルコール性肝障害	3	低カリウム血症	2
不安定狭心症	2	肺気腫	6	胆石症	13	高カリウム血症	1
深部静脈血栓症	4	気管支拡張症	4	胃ポリープ	11	IgA腎症	2
大動脈弁狭窄症	3	非結核性抗酸菌症	1	GERD	66	水腎症	2
発作性上室性頻脈	5	気胸	5	憩室炎	15	CKD	3
洞性頻脈	1			膵炎	4	AKI	1
不整脈	22			ピロリ菌感染症	20	腎盂腎炎	5
心室性期外収縮	5			総胆管結石	2	腎梗塞	3
心筋炎	1			胆嚢結石	4	ネフローゼ症候群	2
房室ブロック	1			食道パピローマ	1	慢性糸球体腎炎	1
三尖弁閉鎖不全症	1			十二指腸潰瘍	5		
内頸静脈血栓症	1			胆嚢炎	6		
側頭動脈炎	1			原発性胆汁性肝硬変	3		
解離性大動脈瘤	1			急性肝炎	4		
腹部大動脈瘤	1			慢性肝炎	5		
				B型肝炎	1		
				C型肝炎	1		
				アルコール性脂肪肝	1		
				食道裂孔ヘルニア	5		
				食道カンジダ症	1		
				イレウス	5		
				虫垂炎	10		
				便秘症	33		

## 外来初診患者様 診断病名一覧 ②

E 脳神経系		F 自己免疫		G 筋骨格系		H 内分泌・代謝系	
片頭痛	17	リウマチ性多発筋痛症	1	筋肉痛	18	甲状腺機能亢進症	10
群発頭痛	3	関節リウマチ	3	肋間神経痛	8	亜急性甲状腺炎	1
緊張性頭痛	14	シェーグレン症候群	3	坐骨神経痛	4	甲状腺機能低下症	7
急性硬膜下血腫	2	SLE	4	三叉神経痛	3	糖尿病	16
脊柱管狭窄症	1			帯状疱疹後神経痛	2	亜鉛欠乏症	1
脳動脈瘤	2			肋軟骨炎	3	葉酸欠乏	3
不安神経症	1			再発性多発軟骨炎	1	ビタミン欠乏症	1
脳梗塞	11			膝関節症	2	インスリノーマ	1
本態性振戦	5			脊髄性筋萎縮症	1	副腎皮質機能低下症	2
もやもや病	1			強直性脊椎炎	1	痛風	8
くも膜下出血	1			掌蹠膿疱症	1	脂質異常症	24
						高尿酸血症	8

## 外来初診患者様 診断病名一覧 ③

I 精神科		J 薬剤性		K 外傷性		L 癌・腫瘍	
摂食障害	1	薬剤副作用	17	骨折	1	食道癌	3
自律神経失調症	8	接触性皮膚炎	2			胃癌	3
うつ	1	アナフィラキシー	1			肺癌	7
認知症	1					大腸癌	7
心身症	1					膵癌	1
ナルコレプシー	3					肝臓癌	2
パニック障害	5					子宮体癌	1
統合失調症	1					胃腺種	1
一側性顔面神経けいれん	1					脳腫瘍	4
不眠症	2					膵肝内乳頭粘液性腫瘍	1
						後腹膜腫瘍	2
						肝血管腫	4
						胃粘膜下腫瘍	2
						頸椎脊椎血管腫	1

# 外来初診患者様 診断病名一覧 ④

M 血液・造血器		N 感染症		O その他	
鉄欠乏性貧血	42	上気道炎	52	下肢制止不能症候群	1
白血病	1	後鼻漏	1	マクロアミラーゼ血症	1
リンパ腫	8	インフルエンザ	24	起立性調節障害	3
リンパ節炎	11	急性副鼻腔炎	12	乳腺症	2
真性赤血球増加症	1	咽頭炎	21	腹壁瘢痕ヘルニア	2
特発性血小板減少性紫斑病	1	百日咳	2	老人性乾皮症	1
EDTA依存性偽性血小板減少症	1	扁桃炎	16	熱中症	8
		肺炎	54	更年期障害	4
		誤嚥性肺炎	3	脱水症	34
		マイコプラズマ肺炎	2	セロトニン症候群	1
		レジオネラ肺炎	1	めまい	16
		伝染性単核球症	3	蕁麻疹	4
		風疹	1	横紋筋融解症	2
		水痘	1	癩風	1
		帯状疱疹	13		
		手足口病	4		
		HIV	1		
		梅毒	1		
		サイトメガロウイルス感染	1		
		蜂窩織炎	6		
		感染性胃腸炎	13		
		尿路感染症	14		
		髄膜炎	5		
		腸チフス	1		
		敗血症	2		
		ノカルジア症	1		
		溶連菌感染症	1		
		肝膿瘍	1		

ユニット名

●総合内科・感染症内科

基本方針

●プライマリ・ケアから集中治療までのジェネラリストをめざして

### 診療機能について

●Primary care physician, HospitalistそしてIntensivistとして、あらゆる医療レベルでのジェネラリストとしての機能を果たす。また、専門性(感染症、膠原病、腎臓)を持ったジェネラリストの集団であることも生かし、当院における内科急性期疾患の診療をさらに充実させる。

### 患者サービス、広報活動について

●総合診療外来にて全人的医療を引き続き継続する。市民健康講座などを通じて地域の住民に対しての健康に関する啓蒙活動をさらに充実させる。地域包括ケアシステムにおける中心的な役割を演じられるように地域連携をさらに進める。

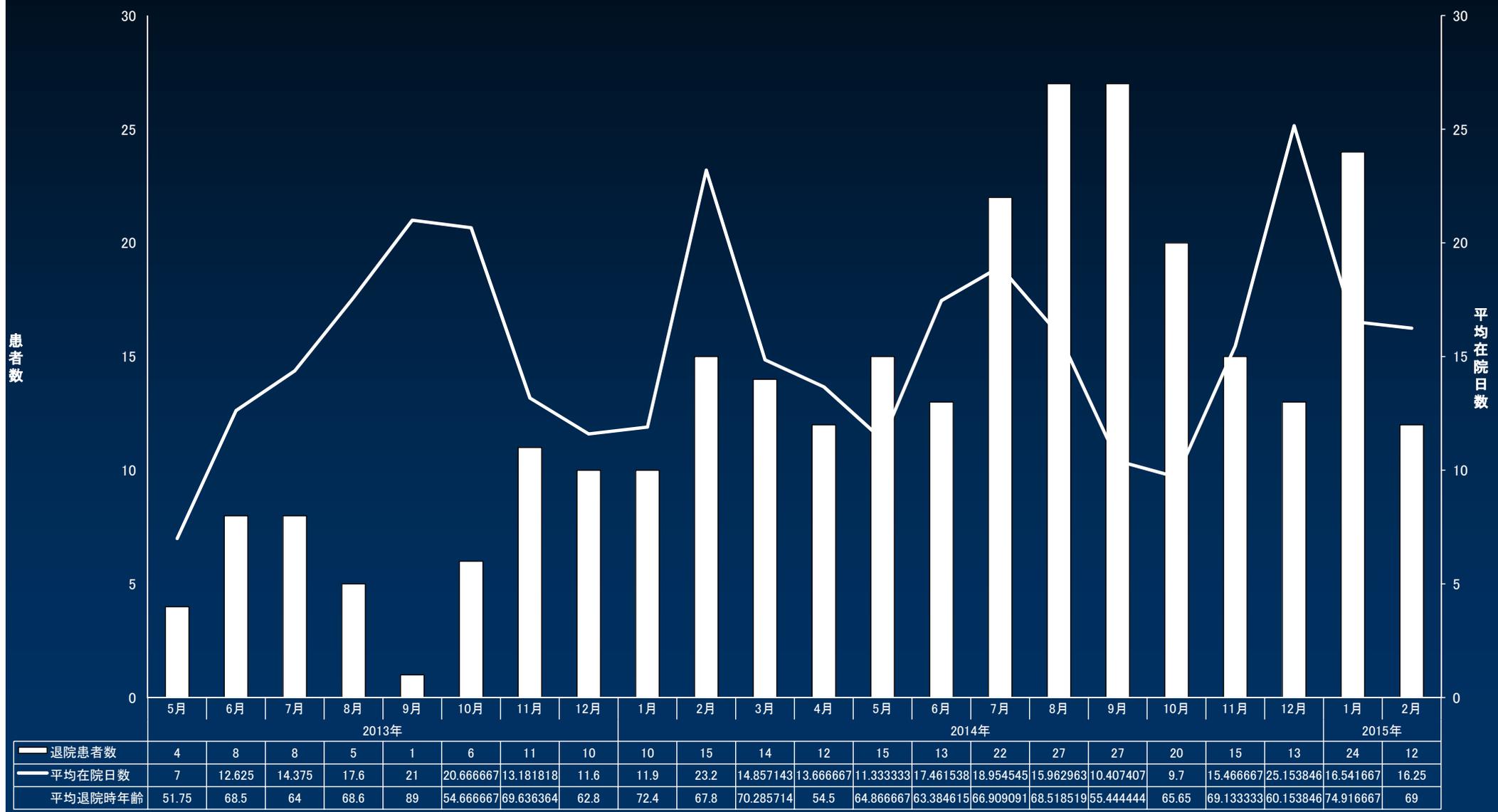
### 教育、研修、研究について

●この1年間に、プライマリ・ケア認定医を3名が取得し3名とも指導医申請済である。また当科には総合内科専門医3名が在籍しているが、今後の内科専門医制度の大幅な変更に対し、病院全体としての内科専門医、内科指導医の増加をめざす。

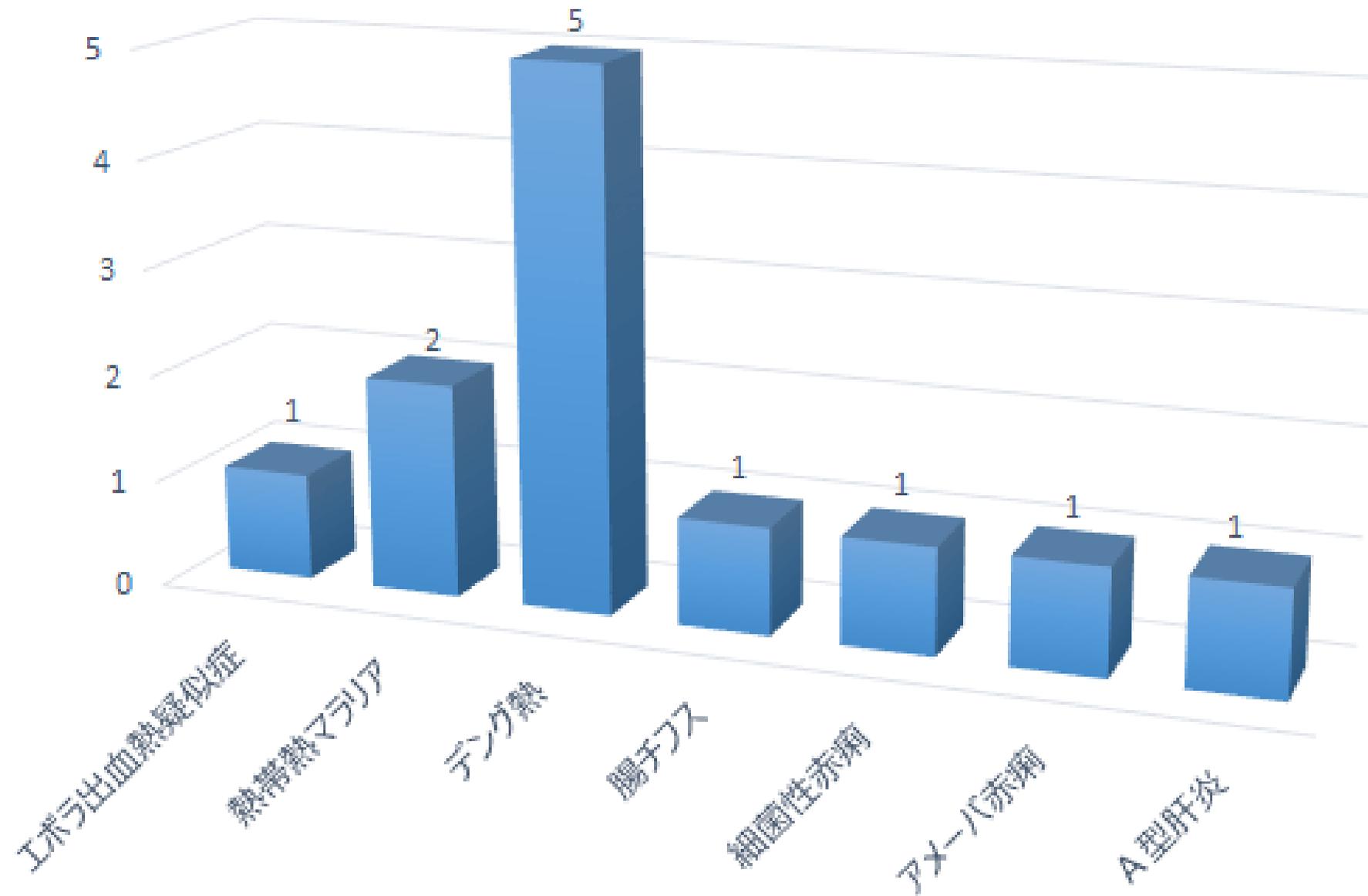
### その他

●学生および初期研修医に対するレジナビなど開催および病院ホームページ、個別の病院見学などを通して、当院および当科の認知度をさらに高め、その魅力をアピールし、来年度に向けての初期、後期研修医の獲得につなげる。

総合内科・感染症内科 退院患者数推移 MediBank



## 当院での主な輸入感染症症例数 2013.4～2014.12



---

---

# 血液内科

白血病/悪性リンパ腫などの造血器腫瘍・  
再生不良性貧血/血小板減少性紫斑病などの  
血液疾患を対象とする専門の診療科  
血液専門医となるための  
多くの症例を経験できる

経験深い指導医による丁寧な研修

## 烏野 隆博

診療局長  
兼血液内科部長

日本血液学会専門医・指導医  
日本腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医  
日本造血細胞移植学会認定医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
日本化学療法学会・抗菌化学療法認定医  
Infection Control Doctor(ICD)  
日本内科学会認定医・指導医

## 福島 健太郎

血液内科科長  
兼輸血部部長

日本内科学会総合内科専門医  
日本血液学会専門医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
日本医師会認定産業医

## 佐多 弘

血液内科医長

日本内科学会総合内科専門医  
日本血液学会専門医

## 玉置 俊治

診療局参与

日本血液学会専門医・指導医  
日本内科学会認定総合内科専門医・指導医  
日本感染症学会暫定指導医  
Infection Control Doctor(ICD)

## 一井 倫子

大阪大学寄付講座医師

日本内科学会認定内科医

---

---

✓ **がん薬物療法**に関する十分な**基礎知識**

✓ **標準治療**の施行

✓ **外来化学療法**

**がん薬物療法専門医**

✓ **がん化学療法**に対する**適切な支持療法**  
(副作用対策)

---

---

✓ **造血幹細胞移植**

**非血縁者間骨髄移植認定施設**

**血液専門医**

**ICD**

✓ 適切な支持療法の修練のため、  
抗癌剤治療において

重要な**感染症等の合併症のマネジメント**

✓ **コミュニケーション・スキルの習得**

✓ **緩和医療**

---

---

# 昨年度の主な対象疾患と患者数

2015年4月～2016年3月の入院患者  
(各疾患実患者数):148名

- ✓ 悪性リンパ腫：約55例
- ✓ 骨髄異形成症候群：約20例
- ✓ 急性白血病：約20例
- ✓ 多発性骨髄腫：約10例
- ✓ 特発性血小板減少性紫斑病：約15例

# 理想的ながん診療



## りんくう総合医療センター 腎臓内科

### 【概要】

私たちりんくう総合医療センター腎臓内科の仕事は三つに分かれます。その第一は腎炎を中心とする腎疾患の治療、第二は保存期腎不全の治療、第三は透析患者の治療です。

腎炎、電解質、輸液の勉強ができるのはどの腎臓内科で研修しても同様でしょうが、りんくう総合医療センター腎臓内科の特色は、手術やinterventional radiologyも行うことです。透析患者のAV-fistulaの手術や人工血管を設置、経皮的血管形成術も行っています。

当科は腎生検から透析患者のブラッドアクセスの管理まで腎疾患の総合的な診療をめざしています。腎疾患の総合的な診療能力を身につけたい先生はぜひ当科での修練に挑戦して下さい。

### 【2015年実績】

#### 【入院患者】

腎生検:22    IgA腎症:6  
AKI:8        ネフローゼ症候群:8  
CKD:29       透析導入:42  
電解質異常:8

#### 【AVorAG-fistula手術】

54

#### 【vascular accessの血管拡張】

141

# りんくう総合医療センター 腎臓内科

## 【認定】

日本腎臓学会研修施設

日本透析医学会教育関連施設

## 【スタッフ】

部長

兼血液浄化センター長 坂口 俊文

H元年 和歌山県立医科大学卒業  
日本透析医学会認定専門医・指導医

副医長

高山 東仁

H18年富山大学卒業  
日本内科学会認定内科医  
日本腎臓学会腎臓専門医  
日本透析医学会認定専門医

医員

矢野 卓郎

H21年和歌山県立医科大学卒業  
日本内科学会認定内科医

医員

田村 渉

H23年和歌山県立医科大学卒業

## 【問い合わせ先】

りんくう総合医療センター腎臓内科部長 坂口俊文

E-mail: [to-sakaguchi@rgmc.izumisano.osaka.jp](mailto:to-sakaguchi@rgmc.izumisano.osaka.jp)

# りんくう総合医療センター 外科 手術実績 2015年



## 手術総数 686例

甲状腺疾患	30例	肝癌	29例
乳癌	83例	胆嚢胆管癌	3例
食道癌	5例	膵癌	2例
胃癌	56例	ヘルニア	180例
結腸癌	71例	直腸癌	30例

\* 鏡視下手術やラジオ波焼灼療法などの低侵襲手術を多数行っています。

りんくう総合医療センター 外科  
業績 2015年



論文：8編

国内学会：38演題

国際学会：4演題

研修医にも、学会、論文発表をして頂きます。

# りんくう総合医療センター 外科 2015年



日本外科学会	指導医	4名、	専門医	10名	
日本消化器外科学会	指導医	2名、	専門医	5名、	認定医 2名
日本消化器病学会	指導医	1名、	専門医	2名	
日本超音波医学会	指導医	1名、	専門医	1名	
日本小児外科学会	指導医	1名、	専門医	1名	
日本消化器内視鏡学会			専門医	2名	
日本内視鏡外科学会	技術認定医		1名		
日本内分泌外科学会	内分泌・甲状腺外科		専門医	1名	
日本乳癌学会			乳腺専門医	2名	乳腺認定医
					1名
日本がん治療認定医機構	専門医	1名、	認定医	4名	
大腸肛門病学会			専門医	1名	
消化器がん外科治療認定医			4名		
日本臨床腫瘍学会	暫定指導医		1名		
日本肝胆膵外科学会	高度技術指導医		1名		
日本食道学会	食道認定医		2名		
Infection Control Doctor (ICD)					2名
PAPS member			1名		
日本ストーマ排池リハビリテーション学会	ストーマ認定士				2名
大阪大学医学部臨床教授					
兵庫医科大学臨床教育教授					

## りんくう総合医療センター 外科



週に1回の院内回診と外科カンファレンス、各領域カンファレンス等、研修医の方も一緒に参加します。



# りんくう総合医療センター 外科 がん診療連携拠点病院 カンサーボード



地域がん診療連携拠点病院として定期的を開催しています

# 位藤俊一

りんくう総合医療センター  
市立泉佐野病院  
がん治療センター長・外科部長

## 早期乳がんを「切らずに治す」 ラジオ波焼灼療法のプロントランナー

「切らない方法は  
ありませんか」

「乳がんの治療法として手術が基本であることは論をまちません。しかし私は、乳がんを切らずに治す方法もあるのではないかと考えたんです。たまたま日本第1例を手がけたのは、ある患者さんが「切らない手術」を強く望まれたのがきっかけでした」

そう語るのには、りんくう総合医療センター市立泉佐野病院がん治療センター長・外科部長の位藤俊一医師である。

乳がんを切らずに治す方法とは、ラジオ波焼灼療法（RFA）による乳がん治療だ。「2cm以下の早期乳がん」が主な対象であるが、「傷がつかない」「変形がない」をキーワードに、夢の乳がん治療への期待が高まりつつある。

日本の第一人者である位藤医師が言う。

「乳がんのラジオ波焼灼療法は、電磁波を発する長さ10〜15cmの針を皮膚から刺し、乳房の中のがんを串刺し状態にして電磁波を流します。そうして、針の先2〜3cmにのみ摂氏80度から90度前後の熱を発生させ、

がんを焼き固めてしまいう治療法です。治療翌日には退院ですから、お化粧をして昼から仕事へ戻られる患者さんもいます」

ラジオ波は、90年代初頭から米国においてがん治療に応用され始めたものである。日本では99年に本格導入が始まり、04年4月に保険適用された肝臓がんラジオ波治療は全国的に普及している。一方、乳がんのラジオ波治療は米国M.D.アンダーソンがんセンターが先鞭をつけた。

「日本の1例目は02年初秋の頃に80代の患者さんが娘さんと一緒に来られた。すべてはそこから始まったん

です」（位藤医師）

位藤医師の記憶によると、患者側と同医師の間では次の会話が交わされた。

患者「切らない方法はありませんか」  
位藤「ラジオ波治療が肝臓がんに対して始まっています。ただ、乳がんのラジオ波治療はまだ日本では行われていないのです」

患者の娘「なんとかその治療をできるようにしてください。母は他の病気があり、全身麻酔も受けさせたくないのです」

位藤「倫理委員会にかける必要もあり、すぐは難しいかもしれませんが」

患者「できるようなるまで待ちます。私は先生に治してほしい」

当時外科医歴19年目の位藤は肝臓がんのラジオ波には自信があった。翌03年1月に行われた国内初の乳がんラジオ波治療は局所麻酔下に「10分」でがんを焼き、翌日退院。乳がん再発はなく、08年春にその人は93歳の天寿をまっとうしたという。

「1例目は、私も細心の注意を払いながら、手探りで施行した治療でした。患者さんが治療中に痛みを訴えられたことから、局所麻酔とはいえず、もう少し痛みにも配慮すべきだったと

反省し、それ以降は全身麻酔で行うことにしたんです」（同医師）

### 指導のために 東奔西走の毎日

最近6年間で通算治療数150例を超える。超音波診断の経験と実力でも日本屈指の位藤医師は今、治療指導のため東奔西走している。

09年のある日、神奈川県にある湘南記念病院に位藤の青い手術着姿があった。

全身麻酔で治療台に横たわる60歳女性は左乳がん。ミリ単位でがんの広がりを見る超音波モニター上では、1・5cmのがんがくっきり映し出されていた。位藤医師がいった。「それでは、ラジオ波治療を始めます」

その10分後、位藤が狙い撃つように右手に持った針先で左乳房の病巣を貫いた。超音波画像で一度確認すると、今度は針先に電磁波を流して温度を上げ、治療助手が皮膚の火傷を防ぐため水袋で直接冷やす……2度、3度とその動きが繰り返され、切らない乳がん治療が1時間足らず

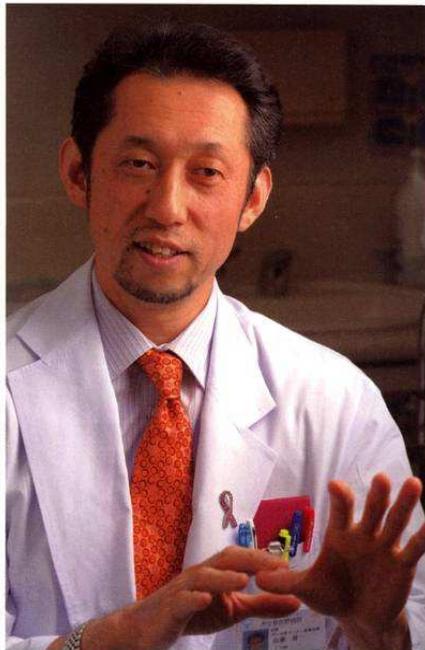
で成功した。

「ラジオ波焼灼療法は、熱でがん細胞を壊すので根治性が高いんです。治療翌朝には痛みも消え、当然食事には普通に戻れます。胸に傷が残らないので精神的なものが全然違うと言われる方もいます」（同医師）

ただし、まだ治療の歴史が浅く、乳がんラジオ波は保険適用外だ。治療対象も早期乳がんに限られると位藤は強調して語った。「乳がんならばどんなものでもラジオ波で治せるわけではありません。が、乳房温存療法の選択肢にはなり得るので、安全確実な治療ガイドライン作りが急務と考えています」。この世界のフロントランナーらしい言葉だった。

### 患者へのメッセージ

患者さんにとつて  
利益の大きい治療を考えます



米国スローンケタリングがんセンターへ留学し「乳腺腫瘍学」を学んだ。特に超音波検査が得意。「超音波が私の聴診器代わりです」



乳がんラジオ波の治療現場。神奈川県鎌倉市にある湘南記念病院にて。写真左が位藤医師



心臓センター

Rinku General Medical Center

りんくう総合医療センター  
心臓センター

循環器科内科

スタッフ8名、専任レジデント1名

心臓血管外科

スタッフ3名、専任レジデント2名





# 心臓センター

Rinku General Medical Center

## 施設基準

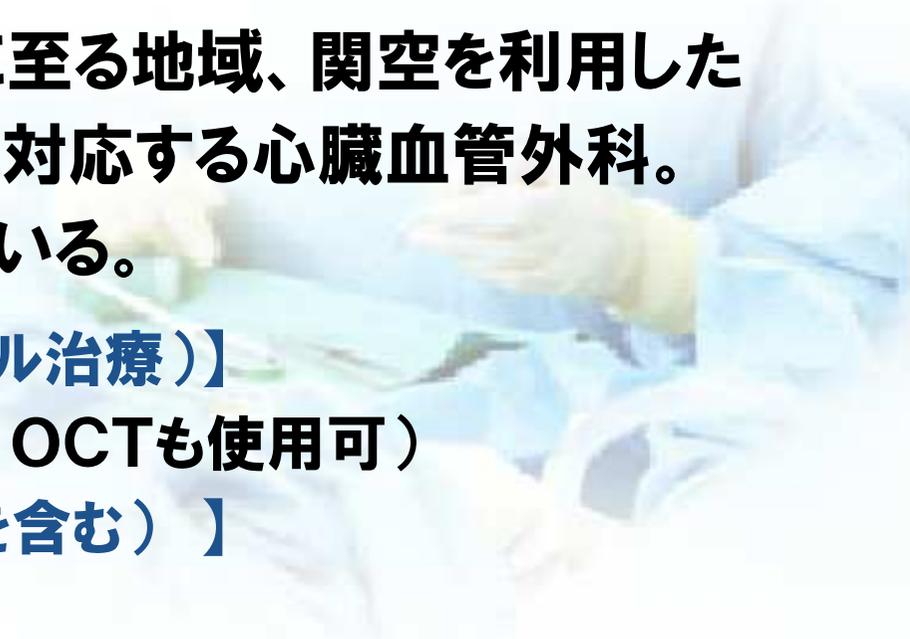
- 【循環器内科】 循環器学会、内科学会、  
心血管インターベンション治療学会教育施設
- 【心臓血管外科】 胸部外科学会、外科学会  
心臓血管外科学会教育施設

## 特徴

大阪府南部(人口100万人)の心臓3次救急を受け入れる循環器内科。  
大阪府南部から和歌山に至る地域、関空を利用した遠隔地からの手術要請に対応する心臓血管外科。  
低侵襲心臓手術も行っている。

## 症例数

- 【年間PCI(冠動脈カテーテル治療)】  
400~500例(IVUS、OCTも使用可)
- 【開心術(off pump CABGを含む)】  
90~100例





# 心臓センター

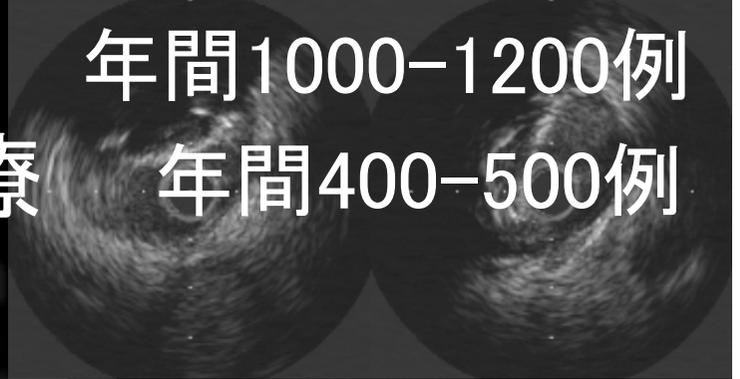
Rinku General Medical Center

- ❖ 64列マルチスライスCT、三次元心エコー稼働。
- ❖ 心臓センター専用血管造影装置1台(他に一般用1台)。
- ❖ 病院の許可病床数は、集中治療室(ICU24床)を含む388床、急性期循環器疾患に対する24時間体制での高度医療を行なっている。救急患者及び、病院・医院からの問い合わせには、循環器専門当直医が24時間体制で対応。
- ❖ 循環器内科と心臓血管外科は、心臓センターとして一体となり、心臓疾患の患者様に内科・外科の総力をあげて、最も良い治療を行なうことを目指している。特にカテーテルインターベンション治療では、常に緊急対応チームを3チームスタンバイし、南大阪(主には貝塚以南～和歌山まで)の急性期心臓救急に対応している。
- ❖ 不整脈治療では、ペースメーカー植込み術、ICD・CRT-D植込み術にも力を入れている。
- ❖ 一つの医局にこだわらず、全国から高いレベルの医師が集まる。

# 心臓センター

心臓カテーテル検査  
インターベンション治療

年間1000-1200例  
年間400-500例



# 外科医を目指す若手医師の皆様へ

初期／後期研修の目的は人によって様々です。最近では、研修期間に内科や救急等、多くの科を回って、全般的な知識や技術を身に付けたいと考えている人も多いと思います。

選択肢の一つに、「外科医」を考えている場合、ある程度、外科系に特化した研修プランを検討するのも一つの方法です。

当院は、外科専門医や心臓血管外科専門医を取得するのに大きな利点があります。

- ✓ 外科系専門科が充実しており、当院での研修で外科専門医取得に必要な症例を経験することが可能
- ✓ 大阪大学外科専門医／心臓血管外科専門医育成プログラムと連携し専門医取得を支援
- ✓ 心臓大血管手術の執刀

# りんくう総合医療センター 心臓血管外科

当科は、循環器内科と心臓センターを構成し、循環器疾患治療の泉州地域の中核施設として機能しています。症例数の豊富な循環器内科の支援により年間100例前後の心臓胸部大血管手術を行っており、手術件数も増加傾向にあります。緊急手術にも24時間対応で、急性大動脈疾患（急性大動脈解離、大動脈瘤破裂）、心筋梗塞合併症に対する手術（乳頭筋断裂による僧帽弁閉鎖不全症、心破裂、心室中隔穿孔）を行っています。

## 年間手術症例数

### 心臓胸部大血管手術（及び総手術数）

2014年	80例（168例）
2012年	79例（154例）
2010年	108例（169例）

# 当科の特徴

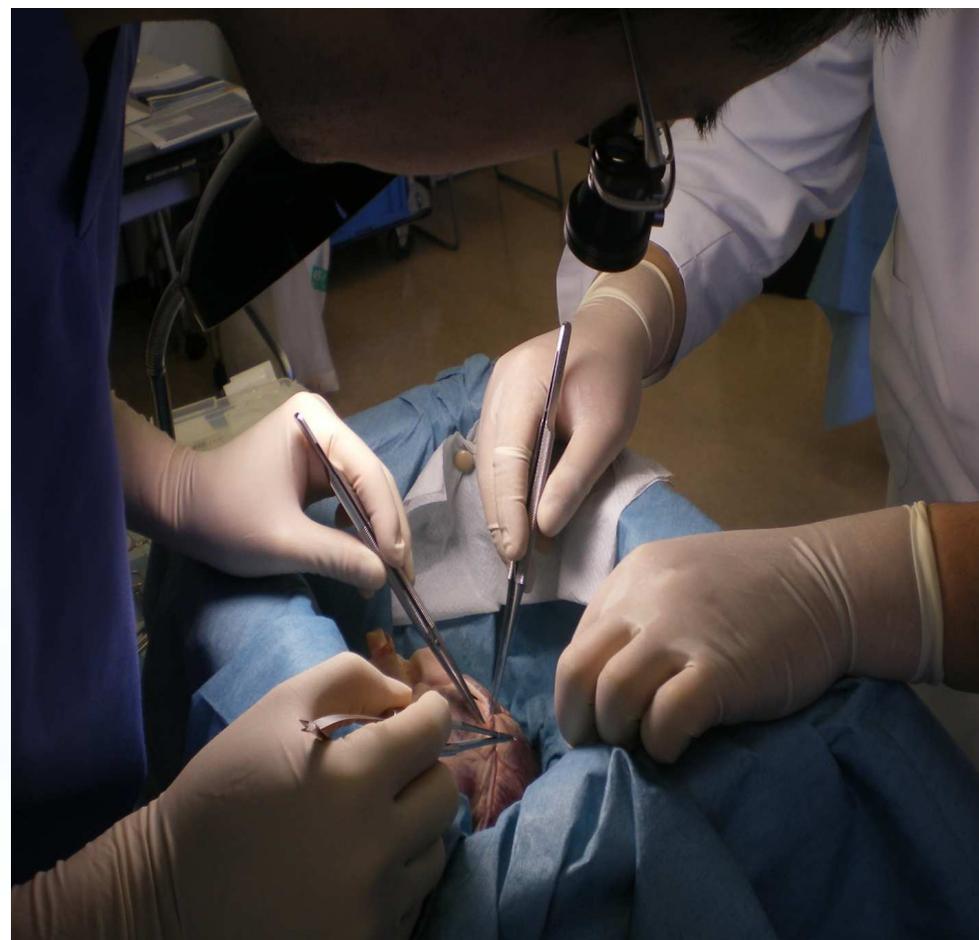
- ✓ 心拍動下冠動脈バイパス術、僧帽弁形成術など、最近主流である一般的な手術は全て行っています。
- ✓ 若手心臓外科医の育成に力を注いでおり、当科での研修で、心臓の手術執刀の機会もあります。
- ✓ 大阪大学心臓血管外科と連携し、大動脈瘤に対する大動脈ステントグラフト治療、重症心不全に対する外科治療(補助心臓、心臓移植、再生治療)等を経験することも可能です。



# 心臓センター 心臓血管外科

Rinku General Medical Center

## 豚の心臓を使ったウエットラボ





# りんくう総合医療センター 脳神経診療部

・泉州地域の基幹病院として、脳神経外科・神経内科の2科にて脳神経疾患全体を治療している。

•施設基準

- 大阪大学医学部脳神経外科の研修病院
- 日本脳卒中学会研修教育病院
- 日本リハビリテーション学会研修施設
- パーキンソン病治療認定施設、ボツリヌス治療許可施設 等

脳神経外科(スタッフ5名)  
専門医4名

泉州救命救急センター

神経内科(スタッフ1名)

- 脳神経外科学会専門医
- がん化学療法暫定指導医
- がん治療専門医
- 脳卒中専門医
- 脳血管内治療専門医
- 救急専門医
- 頭痛専門医／指導医
- 内科学会認定医
- 神経学会専門医



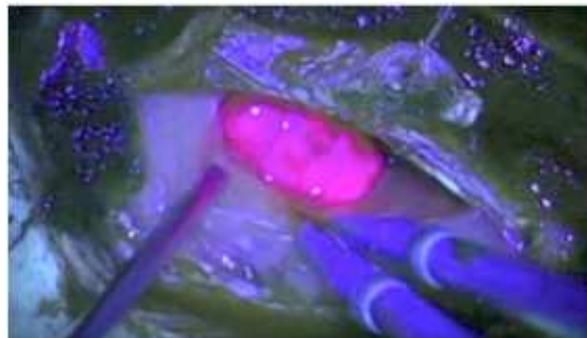
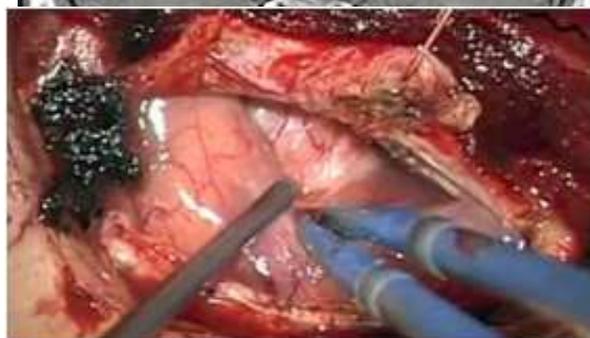
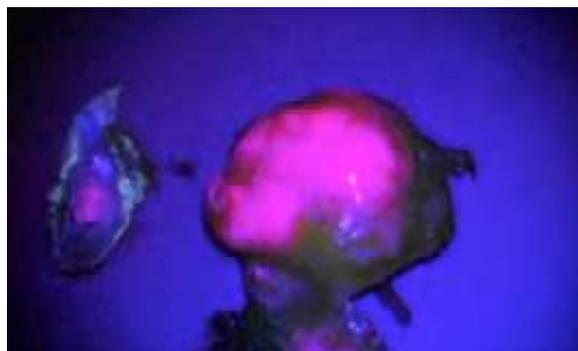
# りんくう総合医療センター 脳神経診療部

- ◆ **脳脊髄腫瘍**:ニューロナビゲーターや5-ALA蛍光観察等による最新の機器による安全で確実に低侵襲な腫瘍摘出のみならず、最新の遺伝子診断や免疫細胞治療(樹状細胞療法など)を駆使した悪性脳腫瘍を行っている。
- ◆ **脳血管障害**:24時間体制で救命センターと協力して、治療を行っている。クモ膜下出血、脳出血、脳梗塞に対する外科手術、および血管内治療を行っている。また脳卒中連携パスを用いて周辺地域病院との連携をとり、急性期から回復期までのシームレスでトータルな治療を行っている。
- ◆ **機能外科**:パーキンソン病に対する深部脳電極設置術、痙直型脳性麻痺に対するバクロフェン療法等の治療を行っている。
- ◆ **頭部外傷(3次)**:泉州救命センターへの受け入れ後、適宜、外科的治療を行っている。Global studyのCrash studyに参加している。



# りんくう総合医療センター 脳神経診療部

脳腫瘍手術の例：  
髄膜腫に対する術中蛍光観察とナビゲーター



ナビゲーターによる安全で確実な摘出と、  
5-ALAによる著明な赤色蛍光により、残存なく全摘出が可能



# りんくう総合医療センター 脳神経診療部

## 脳血管内治療:

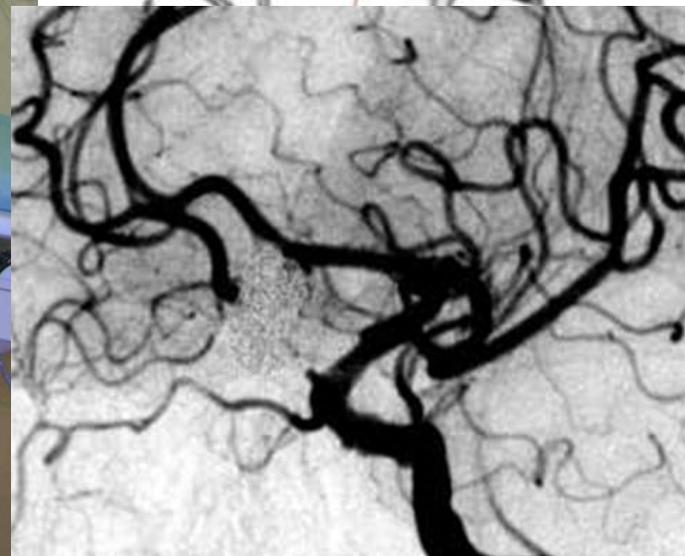
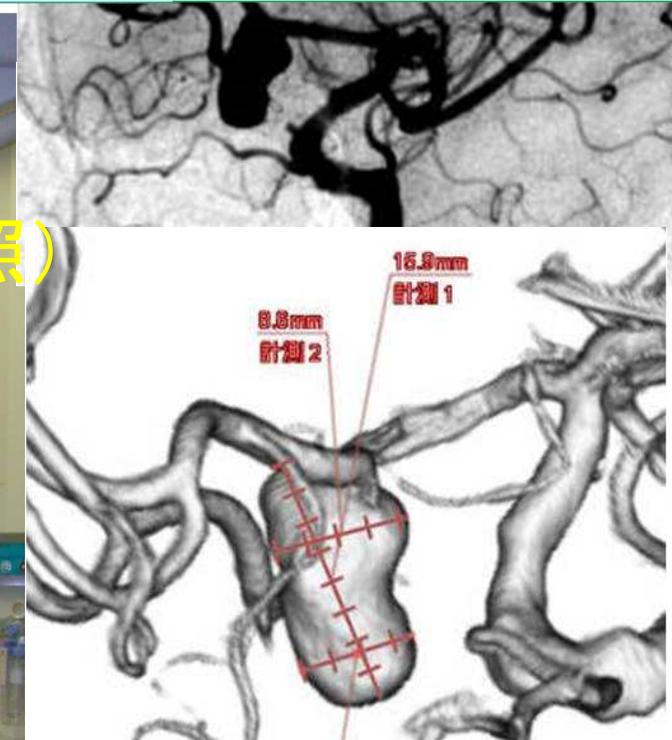
脳動脈瘤に対するコイル塞栓術(左図参照)

頸動脈狭窄に対するステント留置術

脳梗塞に対する血栓除去、血栓吸引術  
を数多く行っています。

脳血管撮影: 170 例/年

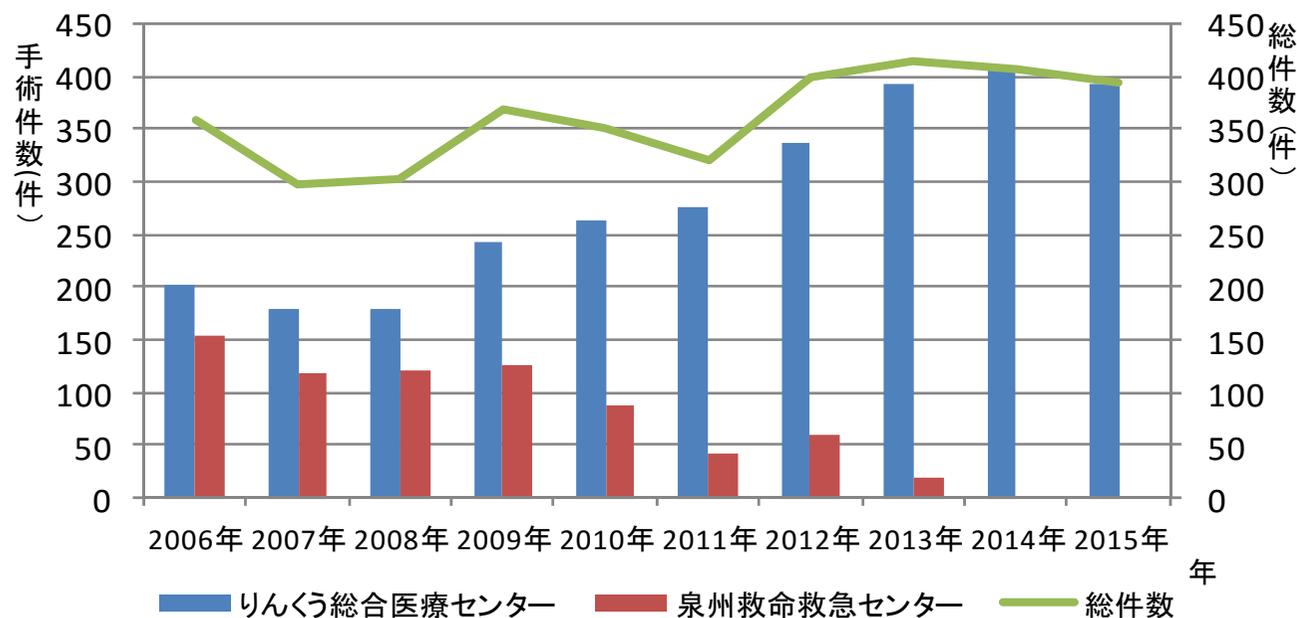
脳血管内治療: 100 例/年





# りんくう総合医療センター 脳神経診療部

手術件数の推移2006年(H18年)～



泉州救命救急センター: 2013年4月りんくう総合医療センターと統合

症例数	2015年	2014年
腫瘍部門	23	47
血管部門	58	54
外傷部門	148	175
機能部門	47	53
血管内治療部門	106	78
総数	393	408

当院では、将来の脳神経外科専門医を志望する研修医／レジデントを、大阪大学プログラムにより、大切に育てて行きます。

# りんくう総合医療センター 呼吸器外科

## 【当科の紹介】

当科は、大阪大学呼吸器外科の関連施設で、1999年に外科より独立しました。  
現在、泉南地域、岸和田市より以南では、唯一の呼吸器外科学会の認定修練施設として、肺がん、気胸などを中心に、呼吸器疾患の外科治療を行っています。

## 【研修目標、内容など】

新しい外科専門医研修制度では、大阪大学を基幹施設とした連携施設として位置づけられ、外科専門医習得のために、必要に応じて、一般外科、乳腺甲状腺外科、小児外科、心臓血管外科での修練が可能です。  
当科としては、日本呼吸器外科学会認定修練施設として、専門医の資格習得に向けた、臨床研修を行う。

## 【研修後の進路など】

終了後は、当科でのスタッフへの昇格以外にも、関連大学の大阪大学呼吸器外科への入局の場合、他の基幹施設、関連施設への赴任、大学院への進学など、随時相談にのることができます。

# りんくう総合医療センター

## 呼吸器外科

### 【年次目標】

原則、呼吸器外科学会の専門医教育カリキュラムに準拠して行っています。

(後期-1年目)

外科専門医資格を目標として、一般・消化器外科、小児外科、心臓外科そして、呼吸器外科を研修する。呼吸器外科では、この間、各種疾患の解剖・生理などの理解、各種診断法、検査法、手技の理解・取得、手術適応の判断といった臨床判断能力、問題解決能力を習得、そして、適切な周術期管理を習得する。

手技では、主に第1～2助手として参加、気胸、良性腫瘍、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍などでは、部分切除を経験する。関連学会の地方会、研究会などで演者として発表する。呼吸器外科学会総会または、胸部外科学会総会へ参加、加えて、呼吸器外科セミナーまたは、胸部外科学会postgraduate Courseへの参加、そして、胸腔鏡セミナーなどの教育講習会への参加。

(後期-2年目)

引き続き、外科系各科を研修。呼吸器外科の臨床判断能力、問題解決能力そして、適切な周術期管理の習得は前年通り。手技では、主に第1助手として、気胸、良性腫瘍、転移性肺腫瘍、そして縦隔腫瘍などでは、主に、術者を経験する。肺癌などの単純肺葉切除例、縦隔腫瘍の単純摘出例でも、徐々に術者を経験する。関連学会の地方会に加えて、総会でも、演者として発表する。学会参加、教育セミナーなどへの参加は、前年通り。

(後期-3年目)

引き続き、外科系各科を研修。呼吸器外科の臨床判断能力、問題解決能力、そして、適切な周術期管理の習得は前年通り。手技では、主に術者として、胸腔鏡下手術、肺癌、縦隔腫瘍などを経験する。関連学会の地方会に加えて、総会でも演者として発表、呼吸器外科関連の論文1編作成を目指す。学会参加、教育セミナーなどへの参加は、前年通り。

(卒後6年目以降)

大阪大学で、呼吸器外科の研修を継続。学会活動、教育セミナーなどへの参加は、継続。さらに、7年目以降、学位習得希望者には、研究活動の開始、または、臨床研修を希望する場合は、あらためて、基幹施設での研修もある。

# りんくう総合医療センター 呼吸器外科

## 研修責任者

医師名	役職	専門医資格等	専門分野・診療内容
桂 浩	呼吸器センター長兼 呼吸器外科部長	日本呼吸器外科学会専門医・指導医 日本外科学会専門医・指導医 日本胸部外科学会認定医・正会員 日本呼吸器学会専門医(外科系) 日本呼吸器外科学会評議員	呼吸器外科一般/ 肺癌・縦隔腫瘍・気胸手術／胸腔鏡下手術

## 週間スケジュール

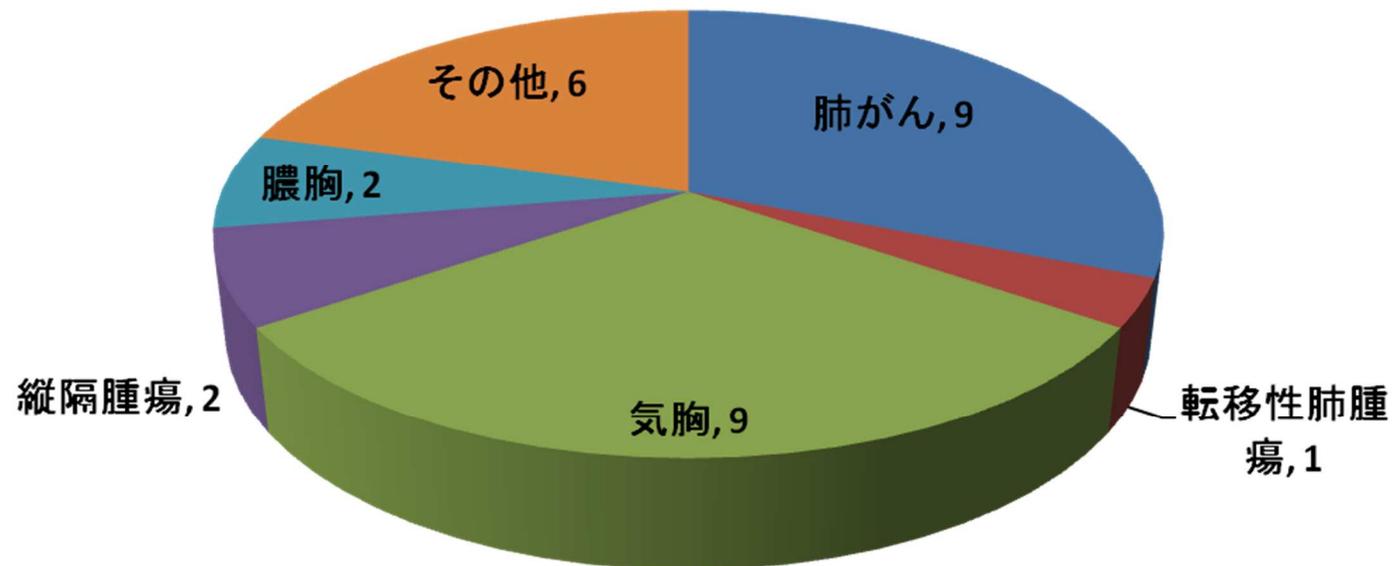
	月	火	水	木	金
午前	外来	手術	外来、合同カンファレンスなど	外来	手術
午後	気管支鏡検査など	手術	回診など	外来	

- 病床数 1床
- 医師数 1名(2015-5.6.1現在)
- 平均術後在院日数 約7日
- 一日平均外来患者数 5人
- 一日平均入院患者数 1人

# (参考)症例の内訳

【2015年手術症例 29例】

胸腔鏡下手術 27例(93%)



# 耳鼻咽喉科

## 当科の特色

- 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、  
日本アレルギー学会認定教育施設(耳鼻咽喉科)
- 聴覚、悪性腫瘍において、全国有数のレベル
- 平成27年度の手術例数はのべ742例、1088件
- 平成27年度の人工内耳埋め込み術件数は16件、  
言語聴覚士が常勤で在籍し、特に先天難聴児には  
良好な言語成績をあげている
- 耳鼻咽喉科専門医では唯一の「がん薬物療法指導医」  
が在籍。放射線化学療法の経験が豊富
- 日本アレルギー学会指導医在籍

# 耳鼻咽喉科

平成27年4月～28年3月 手術症例数 742例

## 代表的な手術

鼓室形成術	43件
人工内耳	16件
鼻副鼻腔内視鏡手術	119件
口蓋扁桃摘出術	87件
喉頭微細手術	63件
頭頸部良性腫瘍手術	77件
悪性腫瘍手術	44件

## 化学療法症例

約 30 例

分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害剤なども

平成26年は2名、27年は1名の2年目研修医  
が耳鼻咽喉科を選択研修してくれました。

1～2ヶ月の間に

担当医になっていただき、（指導医のもと、）

**鼓膜チューブ挿入術、アデノイド切除術、  
喉頭微細手術、口蓋扁桃摘出術の術者も**  
行っていただきました。

# 麻酔科

- 麻酔科スタッフ10名、麻酔科後期研修医2名  
(日本麻酔科学会指導医4名、専門医3名、認定医3名)  
(後期研修医;3年目2名)  
日本麻酔科学会麻酔指導病院;  
麻酔科専門医研修プログラムあり(新専門医制度に準拠)
- 麻酔科管理症例;年間3000症例弱  
全身麻酔、脊髄クモ膜下麻酔、硬膜外麻酔、神経ブロック  
ほぼ外科系全科の麻酔症例あり
- 毎症例、上級麻酔科医がつき、きめ細かな指導を行う
- 毎週カンファレンスを実施、研究、学会発表も指導

現スタッフは皆、教えるのが好きなメンバーです。楽しみに待っていますので、是非いらしてください。充実した研修を保証します！

# 当院で手術のある科・各種センター

- 消化器・一般外科
- 心臓血管外科;心臓センター
- 呼吸器外科
- 産婦人科;泉州広域母子医療センター
- 小児外科
- 脳神経外科;脳神経センター
- 整形外科;脊椎センター、人工関節センター
- 形成外科
- 泌尿器科
- 耳鼻科
- 眼科
- 歯科口腔外科
- 腎臓内科
- 救急診療科;大阪府泉州救命救急センター

## 希望により将来のサブスペシャリティ取得へ向けての研修も可能

- 集中治療;希望者は当院もしくは救命センターICUで研修可能  
(日本集中治療学会認定病院、日本集中治療学会専門医在籍)
- 区域麻酔;超音波ガイド下神経ブロックは、当院手術室、  
ペイン外来で頻繁に行われている
- ペインクリニック;当科ペインクリニックにて研修可能  
(日本ペインクリニック学会専門医在籍、  
日本ペインクリニック学会「指定研修施設」)
- 心臓血管麻酔;当院心臓センターと連携  
(心臓血管麻酔専門医在籍、  
JB-POT認定医による、TEEシミュレータを使った研修あり)
- 産科麻酔;当院の泉州広域母子医療センターと連携
- 小児麻酔;当院小児外科、NICUなどと連携
- 緩和医療;当院緩和チーム、提携病院緩和科で研修可能
- 救急;当院の大阪府泉州救命救急センターで研修可能  
(日本救急医学会 救急科専門医、日本内科学会 総合内科  
専門医在籍)

## 後期研修(4年間)の一例

- 一年目;  
比較的平易な麻酔全般、緊急手術の麻酔  
(麻酔科待機は上級医と2人で)  
全麻、脊麻、硬麻、超音波ガイド下神経ブロックなど、  
基本手技の習得  
術前診察、リスクの判断と麻酔戦略  
論文抄読会、英文テキストの輪読会、学会発表
- 二年目;  
難易度の高い麻酔、緊急手術の麻酔  
(心臓手術、ハイリスク患者、ハイリスク妊婦、挿管困難など)  
(麻酔科待機は上級医と2人で)  
(希望により)救命センターでのICU、外傷緊急麻酔などの研修  
論文抄読会、英文テキストの輪読会、学会発表

# 後期研修3・4年目は、自由選択可能

- 麻酔スキルをさらに深めていくコース
- 集中治療、救命救急、外傷の麻酔などの研修コース
- ペインクリニック、神経ブロック、緩和医療などの研修コース

これらを希望により適宜組み合わせる研修可能

希望により連携他施設での研修も可能

例；甲南病院（神戸）

緩和病棟あり。小児・神経ブロック症例も豊富

姫路医療センター

年間600例を超える呼吸器外科症例

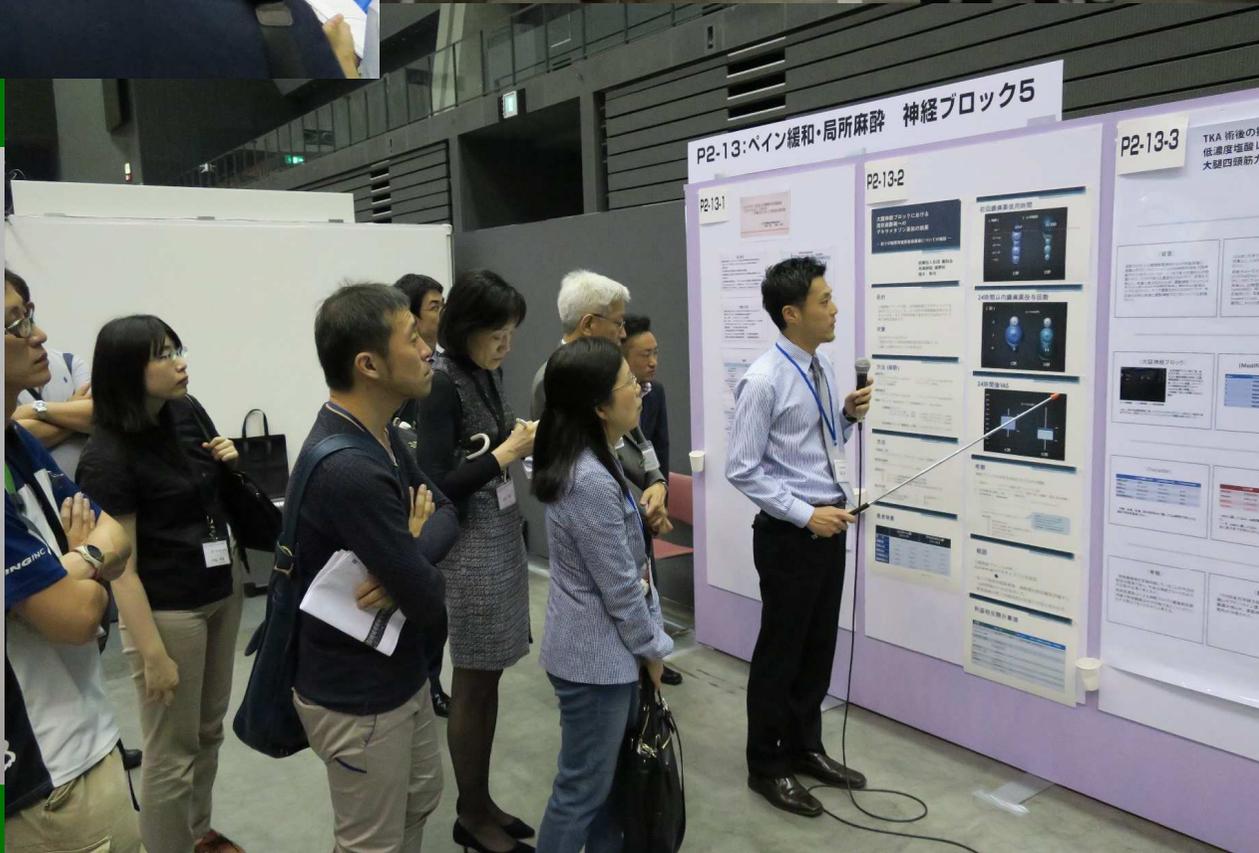
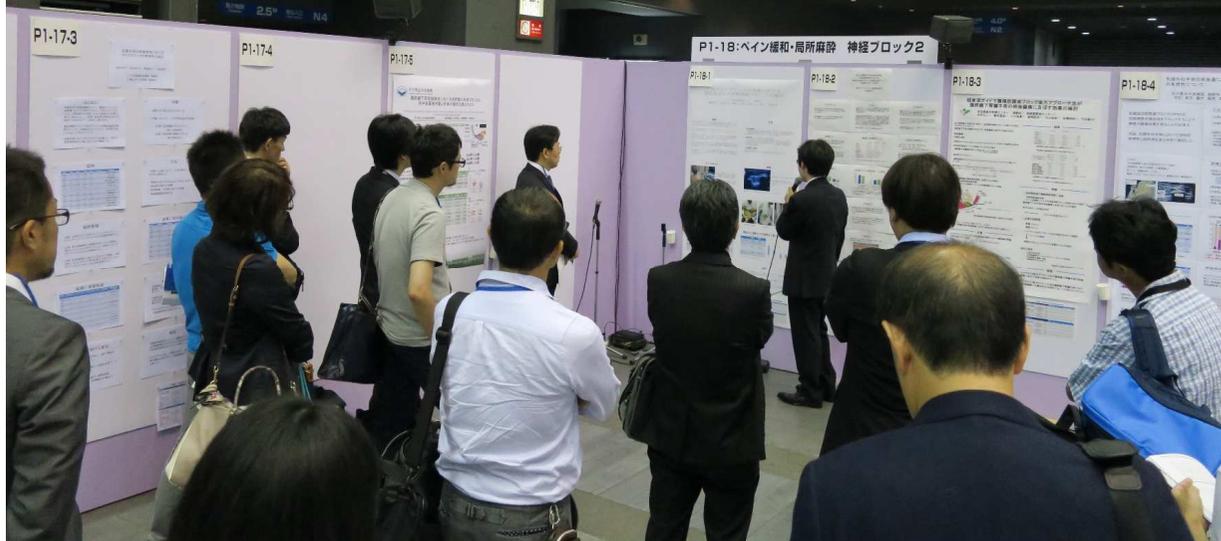
# 麻酔スキルを深めるコースの一例

- 三年目；  
難易度の高い麻酔、緊急手術の麻酔（麻酔科待機を順次、  
一人でできるように）  
後輩、新人看護師などへの指導  
ペイン外来での研修  
（希望により）救命センターでのICU、外傷緊急麻酔などの研修  
論文抄読会、英文テキストの輪読会、学会発表
- 四年目；  
一人で麻酔科待機を含む、全ての麻酔業務を行う（目標）  
連携施設など、異なる環境での麻酔経験、特殊症例の強化期間など  
ペイン外来、集中治療、心臓血管麻酔など、サブスペシャリティ強化  
論文抄読会、英文テキストの輪読会、学会発表  
後輩、新人看護師などへの指導

# 心臓外科手術の麻酔



# 前期・後期研修医の学会発表



# ペイン外来



# 2015 オペ室忘年会

